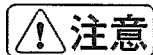


# 「歩行用補助手すりナチュラルイン D型・E型」 組立施工マニュアル

新日軽の製品をお買上げいただきありがとうございます。正しい施工をしていただくため、当説明書をお読みください。尚、施工終了後、本取付説明書はお施主様にお渡しください。

## ■安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと... このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。



この表示を無視して、取付け・取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。



「必ず行っていただくこと」を示しています。

- 歩行用補助手すり本体に乗ったり、揺すったりしないでください。
- 雨具・洗濯物・布団等を載せないでください。
- 歩行用補助手すりをみだりに改造、変更しないでください。
- 歩行用補助手すりに電線等を直接載せないでください。
- JISA6601に規定されているL型手摺強度を確保しており、歩行用補助手摺としてご使用できますが、転落防止機能はありません。転落のおそれのある場所、又防護柵としての使用はできません。

## ■施工上のご注意

新日軽のアルミ製品はJISの表面処理規定を十分クリアした製品をお届けしていますが、取扱によっては異常腐食を起こし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点に注意してください。

- ①モルタル用に海砂を使用されますと、塩分が多量にふくまれていますから腐食の原因になりますのでその使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。
- ②モルタルやコンクリートの抽出液が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。
- ③モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用があるのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・硝酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。
- ④施工時にアルミ製品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、表面に傷を付けますと、腐食しやすくなりますので取扱には十分注意してください。
- ⑤アルミ製品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理してください。
- ⑥輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれているものがありますのでその使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- ⑦腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。
- ⑧柱内部にモルタルやコンクリートが入らないように施工時に注意してください。
- ⑨支柱の水抜き孔はモルタル等で塞がないようにしてください。
- ⑩基礎施工の際は地下の埋設物にご注意ください。また寒冷地はその地域にあった基礎工事をしてください。
- ⑪地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。

\*製品表面に汚れ、ホコリが付着しないよう施行時には十分注意して取り扱ってください。

\*汚れ、ホコリが付着した場合には、軽く水で流すかテープ等の接着面で軽くたたくようにしてください。

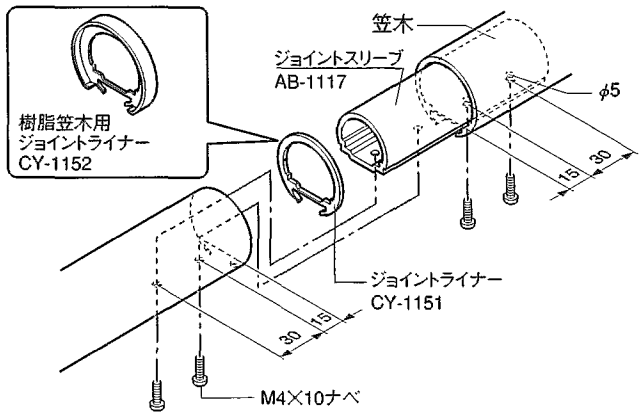
## ■梱包内容明細

名称	サイズ	長さ(mm)	入数
D・E型端部笠木	W=1200	L=1349	笠木1本 (施工マニュアル同梱)
D・E型単体笠木	W=1500	L=1500	
樹脂製端部笠木	W=1200	L=1349	
樹脂製単体笠木	W=1500	L=1500	
D・E型中間笠木	W=1200	L=1198	笠木1本
	W=2400	L=2398	
	W=3600	L=3598	
樹脂製中間笠木	W=1200	L=1198	笠木1本
	W=2400	L=2398	
	W=3600	L=3598	
D型間柱	H: 600用	間柱1本 裏板セット (裏板1枚、M6×14六角ボルト、M6平座金、M6バネ座金各2ヶ)	間柱1本
	H: 800用		
	H: 1000用		
E型壁付けブラケットセット			笠木ブラケット1ヶ、裏板1ヶ M6×14六角ボルト2本、M6平座金3ヶ、M6バネ座金3ヶ M6×38 プラグボルトセット1ヶ
コーナー継ぎ手セット			コーナー継ぎ手1、M4×10なべ2本
エンドキャップセット			エンドキャップ1ヶ、M4×10なべ1本

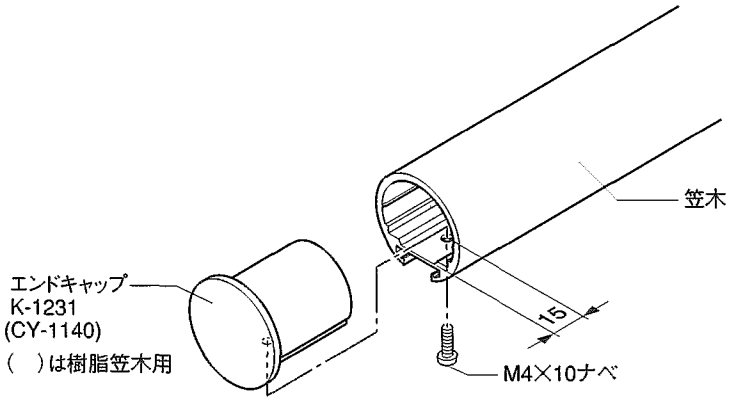
名称	サイズ	長さ(mm)	入数
ジョイント部品セット			ジョイントスリーブ1ヶ、M4なべ4本、ジョイントライナー1ヶ
二段用ブラケット部品セット			二段用ブラケット1ヶ、巾決め材1ヶ、フリー間柱ジョイントA1ヶ M6×14六角ボルト2本、M6×30六角ボルト1本、M6×55六角ボルト2本 M6平座金7ヶ、M6バネ座金5ヶ、M6袋ナット2ヶ
樹脂製笠木 コーナー継ぎ手セット			樹脂製笠木用コーナー継ぎ手1ヶ、M4×10なべ2本
樹脂製笠木 エンドキャップセット			樹脂製笠木用エンドキャップ1ヶ、M4×10なべ1本
樹脂製笠木 ジョイント部品セット			ジョイントスリーブ1ヶ、M4×10なべ4本 樹脂製笠木用ジョイントライナー1ヶ
溝ふさぎ材		L=1500	溝ふさぎ材1本
エンドR形セット			エンドR形本体1ヶ、M4×10なべ2本、 ジョイントライナー1ヶ

**A**～**D**は柱立式・壁付式(樹脂製木調笠木含む)共通の組立てとなります。  
 その他の組立ては、次ページ以降をご参照ください。

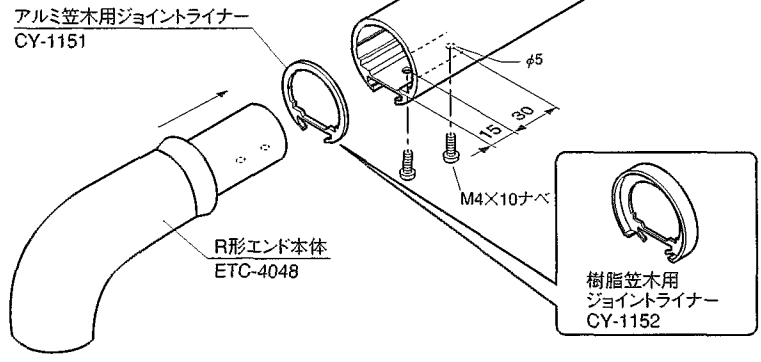
## A 笠木の連結



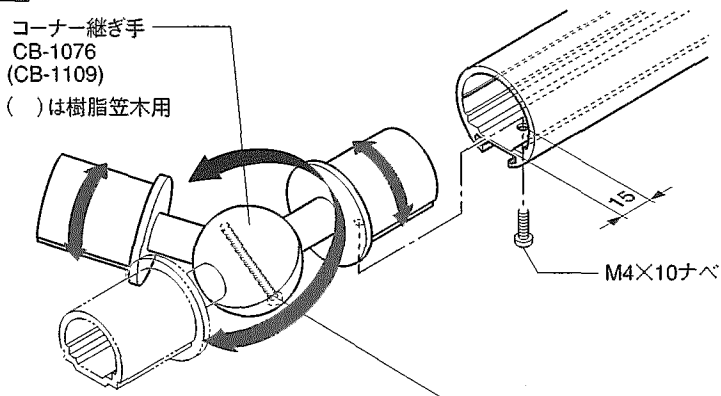
## B エンドキャップの取付け



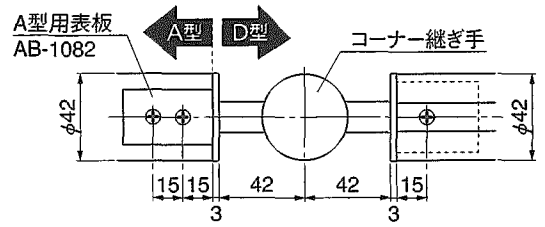
## C エンドR形部品の取付け



## D コーナー継ぎ手の取付け

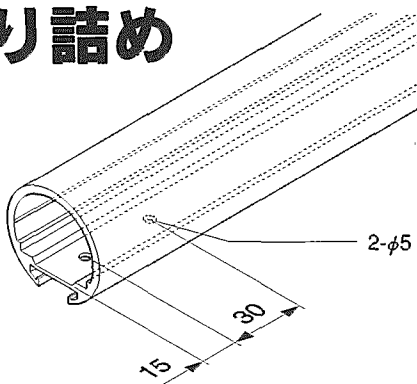


◆ナチュラルインA型フェンスを連結する場合は「A型用表板」をご使用ください。



**注意** 自在コーナー継ぎ手は柱芯から笠木端部が150mm以内の位置になる様設置してください。

## E 笠木の切り詰め



※笠木の切り詰めをした時はφ5の取付け穴を開けてください。

# 柱立式笠木の組立て方 (ナチュラルD型)

※笠木の連結・エンドキャップ・コーナー継ぎ手の取付け、切り詰め方法は、P2 **A**～**E** をご参照ください。

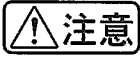
## 1 納まり図



**注意**

柱ピッチは柱移動距離±150mmを含め、必ず1500mm以内(標準1200mm)になる様設置してください。

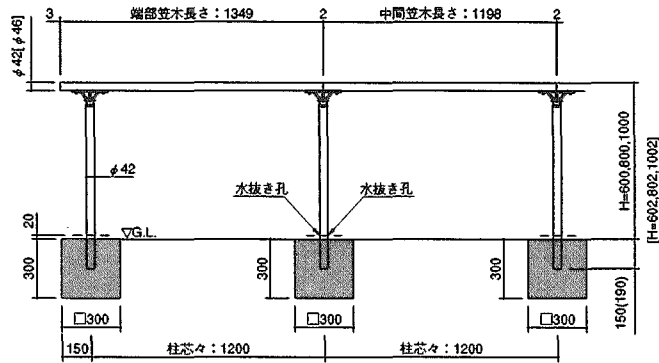
※( )内寸法はH=1000基礎用とする。[ ]は樹脂製カバー付き笠木を示す。



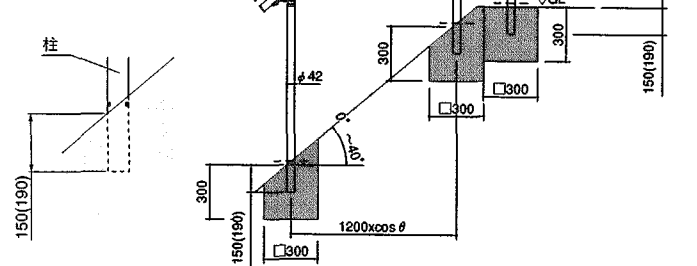
**注意**

モルタル等で水抜き孔が塞がった時には、GLより20mm以内の所にφ5の孔をあけ直して下さい。  
※水抜き孔を塞ぐと、柱の腐食及び凍結による破裂の原因になります。

### 標準納まり

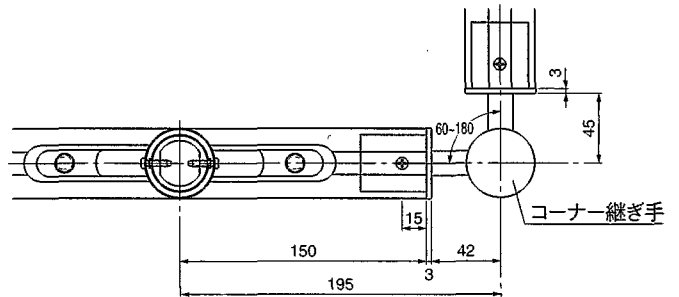
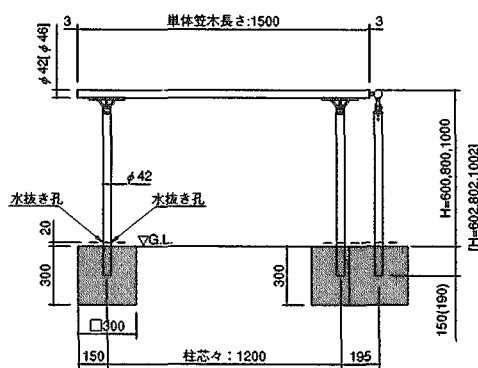


### 傾斜地納まり



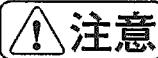
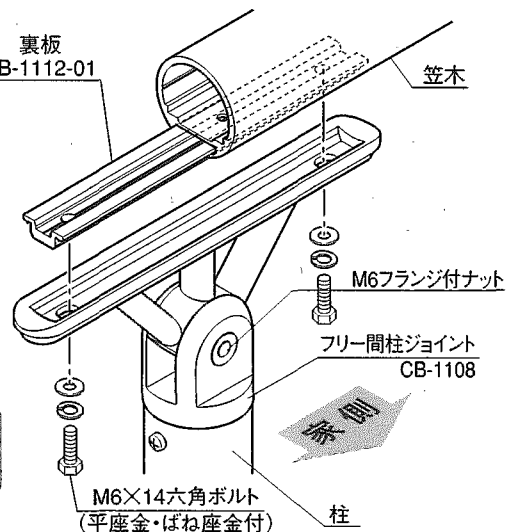
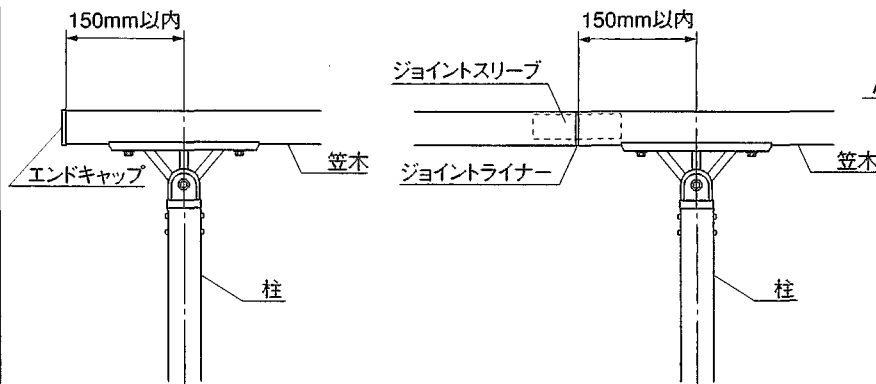
傾斜が大きい場合、水抜き孔が塞がる事があります。両方の穴が塞がらないよう注意してください。  
※水抜き孔を塞ぐと、柱の腐食及び凍結による破裂の原因になります。

### コーナー納まり



## 2 本体の組立て

※裏板は両端のエンドキャップを取付ける前に笠木に差込んでください。



**注意** 笠木端部と連結部分の取付けは柱芯より150mm以内の位置になる様にして下さい。



ボルトの本締めは、全体の調整後におこなってください。調整前に締めすぎると、フリー間柱ジョイントが破損するおそれがあります。

※ラチェット等で裏板にボルトを締めつける際、締めすぎにご注意ください。

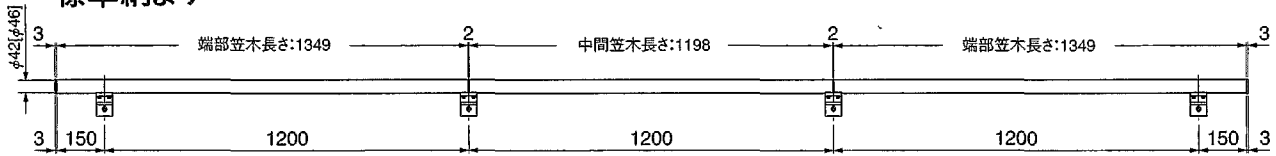
# 壁付式笠木の組立て (ナチュラルインE型)

※笠木の連結・エンドキャップ・コーナー継ぎ手の取付け、切り詰め方法は、P2 **A**～**E**をご参照ください。

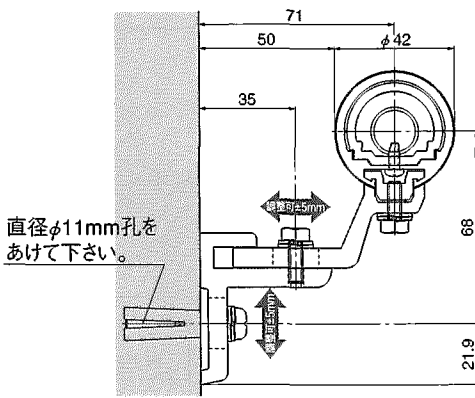
## 1 納まり図

※[ ]は樹脂製カバー付き笠木を示す。

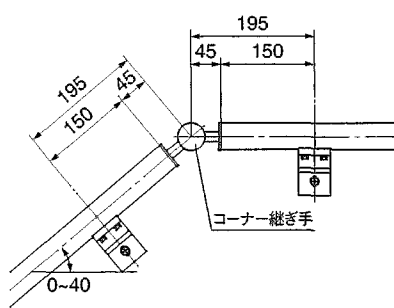
標準納まり



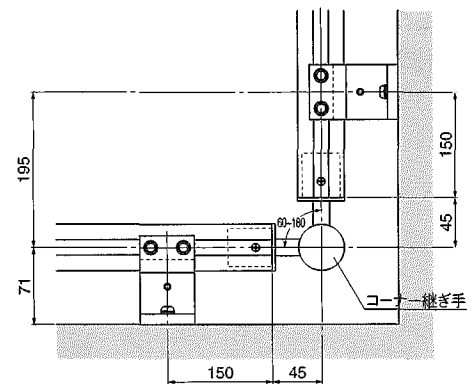
標準納まり断面図



傾斜地納まり



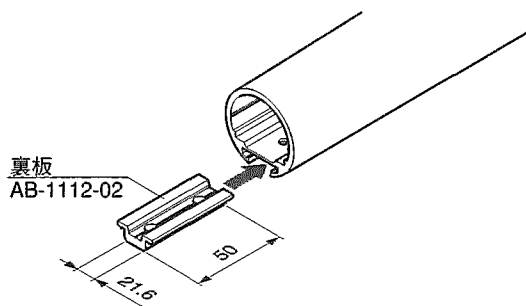
コーナー納まり



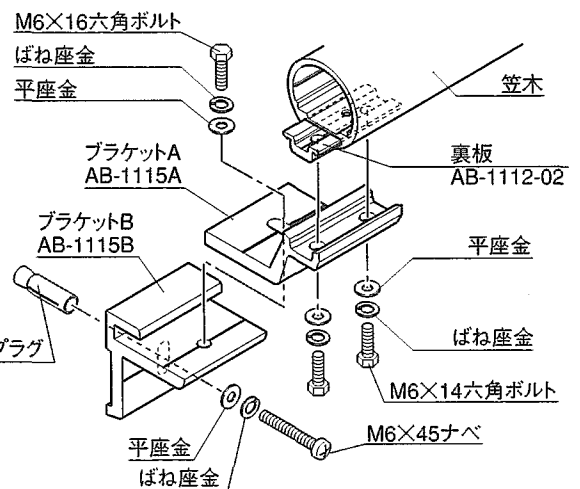
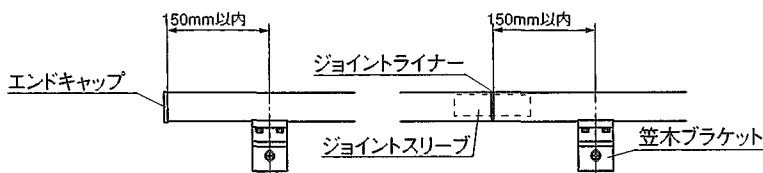
**注意** ブラケットのピッチはブラケットの移動距離含め、必ず1500mm以内(標準1200mm)になる様設置してください。

## 2 本体の組立て

※裏板は両端のエンドキャップを組付ける前に笠木に差込んでください。



**注意** 笠木端部と連結部分の取付けは柱芯より150mm以内の位置になる様にしてください。



**注意** 各ボルトの本締めは、取付け位置の微調整が終ってから行なうようにしてください。

※ラチェット等で裏板にボルトを締めつける際、締めすぎにご注意ください。

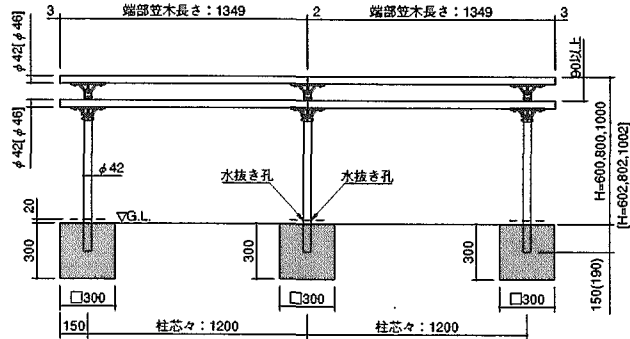
# 二段笠木の組立て方

※笠木の連結・エンドキャップ・コーナー継ぎ手の取付け、切り詰め方法は、P2 **A**～**E**をご参照ください。

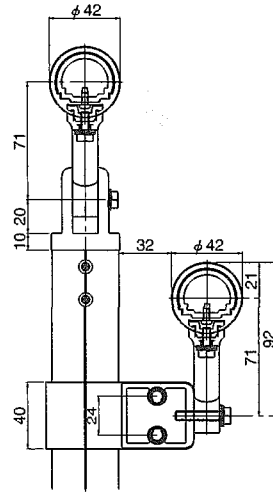
## 1 納まり図

※( )内寸法はH=1000基礎用とする。  
[ ]は樹脂製カバー付き笠木を示す。

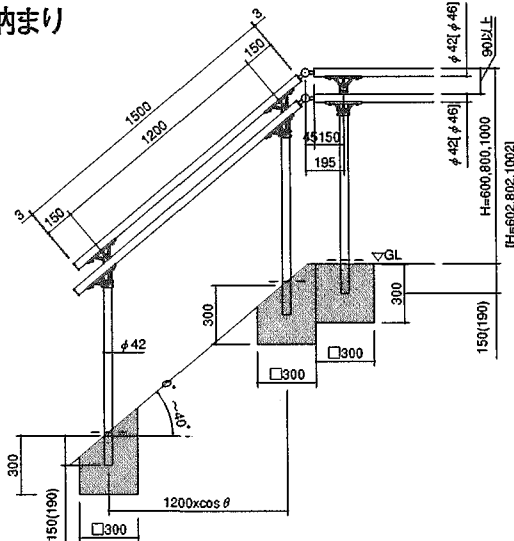
### 標準納まり



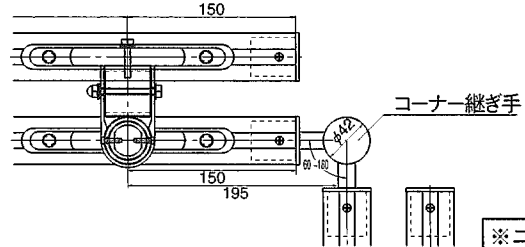
### 標準納まり断面図



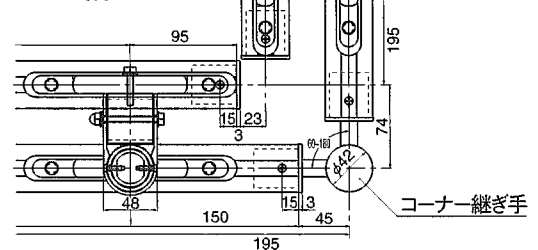
### 傾斜地納まり



### 出隅コーナー納まり

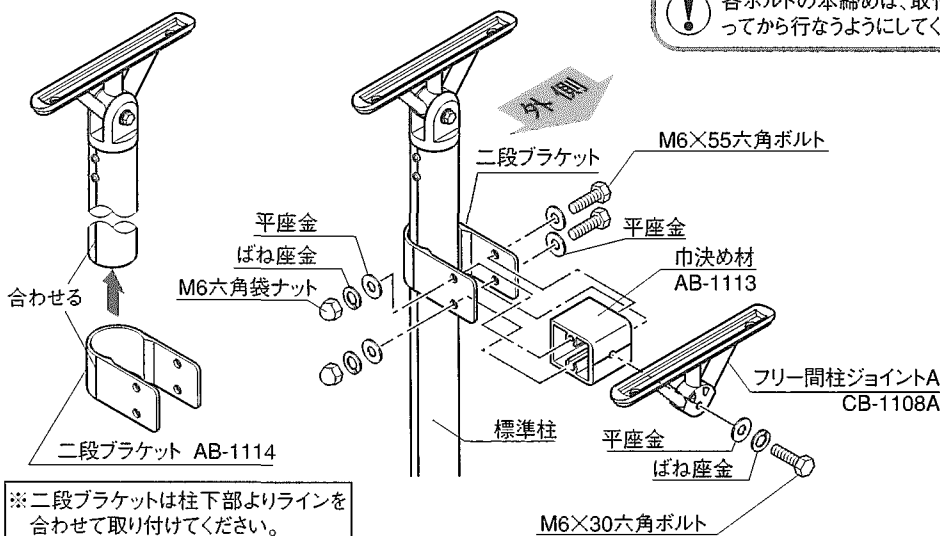


### 入隅コーナー納まり

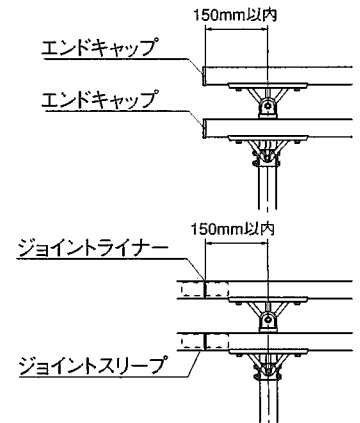


※二段笠木にはコーナー継ぎ手を取付けできません。

## 2 本体の組立て



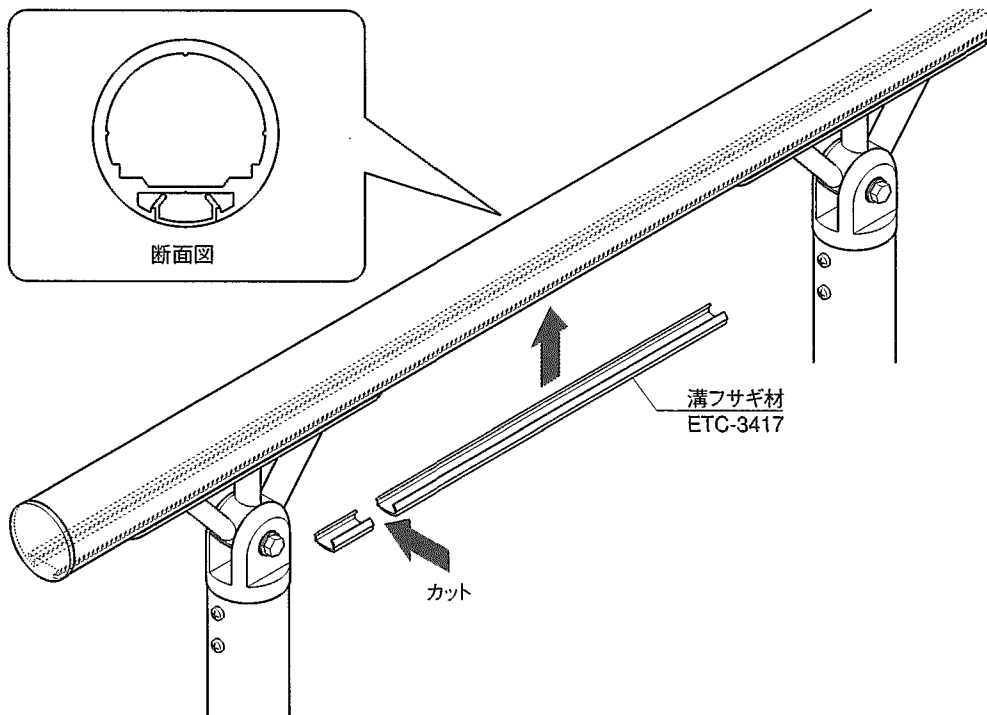
※二段ブラケットは柱下部よりラインを合わせて取り付けてください。  
※H=1000柱のときは補強取付けビスをはずしてから取り付けください。



**注意** 笠木端部と連結部分の取付けは柱芯より150mm以内の位置にすることをください。

# 笠木用溝フサギ材取付け

オプション



※溝フサギ材を必要な長さにカットして笠木の溝へ取付けてください。

## 工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書はお施主様にお渡しください。

## お施主様へ

- 軽い汚れの場合は水にぬらした柔らかいぞうきんで拭いてください。また、ひどい汚れの場合は中性洗剤をうすめた液で拭いてください。この時、洗剤が残らないようご注意ください。月に1度程度お手入れしていただくと美しさを長く保つことができます。

御使用いただきましてありがとうございました。